

令和5年度

第2回八雲町社会教育委員会議

〇と き 令和5年9月27日(水)
午後6時30分～
〇ところ 八雲町公民館第1・2集会室

1 開 会

2 あいさつ

八雲町教育委員会 教育長 土 井 寿 彦
八雲町社会教育委員 委員長 小 林 元 彦

3 議 題

- (1) 令和5年度上期八雲町社会教育課・熊石教育事務所所管事業実施報告について
- (2) 令和5年度下期八雲町社会教育課・熊石教育事務所所管事業計画について
- (3) 令和5年度マイプラン学習講座について
- (4) 令和5年度八雲町社会教育委員各部会等活動報告・計画について
- (5) その他

4 閉 会

令和5年度上期八雲町社会教育課・熊石教育事務所所管事業実施報告について

【少年教育関係事業】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
ミニ金魚ねぶたづくり講習会 (第38回旧たこづくり講習会)	4月23日(土)	町民センター	「金魚ねぶた」を作ることで、自分の手で工夫して作る体験の中から、日本の伝統的なものづくりを学び親しむとともに、青少年の健全育成を図る。 ◆受講者28名 ◆講師 成田幻節氏(ねぶた絵師) ※主管:若人の集い	R5	9	8,400	子ども21名、大人7名	
				R4	9	4,800	子ども12名、大人4名	
				R3	9	3,900	子ども8名、大人5名	
第45回 子どもアイデア作品展 ◆公民館事業	8月～9月	公民館	子どもの創造する力をのばし、手作りの楽しさや工夫する喜びを理解させるとともに「科学する心」を涵養する。 ◆参加者 小学生112名 ◆内容 8月29日(火)応募締切、審査会8月31日(月)、表彰式9月12日(火) ※入賞作品はものづくり・アイデア作品展(函館地方児童生徒発明工夫展)に出品	R5	50	—	小学生112名	小学校4校
				R4	50	41,910	小学生139名	小学校5校
				R3	50	51,670	小学生141名	小学校5校
ユーラップ川 自然体験学習会	①7月2日(日) ②11月予定 ③1月予定 ④3月予定	遊楽部川ほか	遊楽部川の自然を観察し、体感することで郷土のよさの気づきを促すとともに、環境問題についても意識の醸成を図る。 ◆講師 神田一俊氏 ①川釣り探検(15名) ②鮭の遡上観察会 ③オオワシ、オジロワシ観察会 ④鮭の稚魚観察会	R5	35	—	—	—
				R4	35	36,100	4回・延べ60名	
				R3	32	37,210	4回・延べ63名	
新春書初め席書大会 (熊石地域)	1月9日(金)	ふれあい交流センターくまいし館	新年の書初めを行うことで書に親しみ子どもの情操を高める。 ◆小・中学生対象 ◆大会(1月9日)、審査会(日程未定) ※八雲、熊石両地域合同展示会(日程未定)	R5	38	—	—	—
				R4	37	7,380	小学生6名、中学生4名	
				R3	39	7,020	小学生10名、中学生0名	
第59回 小・中学生新年席書大会 (八雲地域)	①1月上旬 ②1月上旬	①落部町民センター ②公民館	新年の書初めを行うことで書に親しみ子どもの情操を高める。小中学校・各書道塾などをとおして参加者を募集する。 ◆小・中学生対象、小学校1年生～6年生の各学年ごと、中学生と7部門で行う。 ◆大会(日程未定)、審査会(日程未定)、表彰式(日程未定) ※八雲、熊石両地域合同展示会(日程未定)	R5	95	—	—	—
				R4	90	75,870	小学生60名、中学生19名	
				R3	90	75,730	小学生56名、中学生20名	

【少年教育関係事業】

【単位: 予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況	備考
公民館 生涯学習講座 (子ども対象) ◆公民館事業	5月～10月	公民館	創作活動をするの喜びと楽しみを知るとともに、子どもの豊かな感性を育む。 ・子ども絵画パレット(幼児～小3対象) ・子ども絵画アトリエ(小3～中3対象)	R5			—	
				R4			参加者26名	
				R3			参加者23名	第4回会議資料で説明予定
公民館 生涯学習パソコン講座 (子ども対象) ◆公民館事業	未定	公民館	情報化時代に対応し、パソコン講座を開催する。 ・八雲地域 プログラミング(初級・ステップアップ) ※共催: 八雲パソコン同好会	R5			—	
				R4			参加者11名	
				R3			参加者23名	
国際交流事業	①未定 ②未定 ③未定	①公民館 ②落部支所 ③くまいし館	小学生を対象に、外国語指導助手との交流や遊びをとおして、異文化を体験し国際理解を図る。 ◆講師 外国語指導助手 ◆内容 未定	R5	19	—	—	
				R4	19	9,400	八雲9名	
				R3	16	9,420	八雲7名、落部10名、熊石7名	
国際交流のつどい	中止 (受入先無しのため)	—	世界各国からの留学生とホストファミリーとの交流を中心に、日本の伝統文化体験、学校交流、地域交流をとおして、相互の国際理解、国際交流を図る。	R5	0	0	中止(受入先無しのため)	
				R4	0	0	中止(コロナ)	
				R3	0	0	中止(コロナ)	
第40回 お年寄りとお年寄りのつどい	①7月22日(土) ②8月26日(土) ③9月9日(土) ④10月28日(土) ⑤11月18日(土) ⑥12月9日(土)	公民館ほか	高齢者と子ども達が、各種活動を通じて世代間交流することで、生きがいづくりや感謝・思いやりの気持ちを育む。 ◆開催内容 ①ホテルを身に行こう!(子25名、高齢3名、保護者13名)、②ゲームで楽しもう!(子39名、高齢1名、保護者2名)、③パークゴルフ(子9名、高齢2名、保護者1名)、④まがたま作り(未定)、⑤防災(未定)、⑥もちつき(未定) ※主管: 社会教育推進委員会	R5	39	—	—	
				R4	39	30,200	子ども112名、保護者2名、お年寄り20名	
				R3	39	27,600	子ども102名、保護者2名、お年寄り9名	
英語で遊ぼう FOR LITTLE CHILDREN (おやこの英語教室)	未定	公民館ほか	外国語指導助手との会話や遊びを通して、外国の文化や生活について学習するとともに、英語への理解を深める。 ◆講師 外国語指導助手 ◆内容 簡単な英語を使った歌、ゲームなど	R5	16	—	—	
				R4	16	7,800	3回、延べ23名	
				R3	15	0	中止	

【少年教育関係事業】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
第40回 ふるさと発見ウォークラリー大会	9月16日(土)	町内	ウォークラリーに参加することとおして、ふれあいや絆を深めるとともに、八雲地域の歴史や文化を学ばせかけとする。	R5	66		25名(9チーム)	
				R4	66	41,250	35名(12チーム)	
				R3	39	0	中止(代替事業実施)	
シールラリー大会 (ウォークラリー大会の代替事業)	-	町内	町内の施設(図書館・総合体育館・郷土資料館・梅村庭園・公民館)をめぐり楽しみながら八雲について学ぶ。	R5	-	-		
				R4	-	-		
				R3	28	26,652	38名	
木工クラフト講座	-	-	熊石の自然を活かして様々な体験や創作活動を開催し、青少年の健全育成を図るだけでなく、郷土のすばらしさの再認識や親子のきずなを深める。 ◆内容 木工クラフト体験等	R5	-	-	中止	
				R4	-	0	中止(代替事業実施)	
				R3	18	0	中止(コロナ)	
カタカタぬりめぐり (泊川集学校共催事業)	10月27日(金) ~29日(日)	ふれあい交流センターくまいし館	3m×3mの布に描いてある絵に参加者で色を塗り、ふれあいや絆を深めながら創作活動を行うことにより、青少年(親子含め)の健全育成を図る。 ※泊川集学校とコラボレーション開催	R5	13	-		
				R4	15	10,000	20名(子14名・大6名)	
				R3	-	-		
ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真ポスター展	①7月20日~28日 ②8月1日~15日 ③8月17日~24日	①公民館 ②落部支所 ③熊石総合支所	戦争体験や原爆被爆体験を伝えるため、原爆被害の実相や現在の核兵器の状況などについて描かれたポスターをとおして戦争の悲惨さを知り、被爆体験を次の世代に正しく伝え、平和意識を高める。 ◆内容 ポスター展示「サダコと折り鶴」ポスター	R5	6	4,440	感想簿記載者3名	
				R4	6	4,260	芳名帳記載者6名	
				R3	6	2,200	芳名帳記載者10名	
化石採集体験学習	7月1日(土)	上八雲	ポンセイヨウベツ川右岸での瀬棚層の観察や貝化石の採集体験を行う。	R5	15	1,485	40名(子21名・大19名)	
				R4	8	4,212	20名(子12名・大8名)	
				R3	10	0	23名(子11名・大12名)	
縄文文化体験講座	1月予定	公民館	勾玉についての学習を行ったあとに、実際に滑石という石を加工して勾玉作りを体験する。	R5	9	-		
				R4	4	6,510	参加者20名	(勾玉作り)
				R3	11	0	参加者31名	(勾玉作り)
少年文化財教室	未定	未定	【R4】小学生を対象に、梅村庭園の植物観察を行い、植物のタネについて学習する。また、世界にはタネを遠くまで飛ばす植物があることから、そのタネの模型を制作し、実際に飛ばしてみる。 【R2・R3】小学生を対象に、八雲が発祥の木彫り熊に親しんでもらうため、実物を見て絵手紙を描く。	R5	15	-		
				R4	6	6,510	参加者4名	空飛ぶタネの模型づくり体験
				R3	14	3,900	参加者7名	木彫り熊の絵手紙作成

【青年・成人教育関係事業】

【単位: 予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
八雲町二十歳の集い	1月8日(日)	町民センター	◎令和6年八雲町二十歳の集い 20歳を迎えた青年を対象に、ふるさと八雲や自分の生き方をあらためて見つめ直すことのできる式典等を開催する。 (対象者H15.4.2~H16.4.1生まれ) ◆式典、記念講演、動画上映など	R5	653			八熊合同開催
				R4	650	463,964	91名(対象者134名)	
				R3	996	1,218,037	令和3年成人式: 51名(対象者160名) 令和4年成人式: 88名(対象者149名)	
YOU・遊・クラス (第49回八雲町青年学級)	7月26日(水) ~3月	公民館ほか	働く青年の人格形成と住み良い地域づくりを進める為の仲間づくりを図るとともに、青年への学習機会を提供し、自主的な社会参加活動を促進する。 ◆クラス生:8名	R5	12	—	8名参加	
				R4	12	0	中止(応募少数)	
				R3	13	0	中止(応募少数)	
第37回 青年活動リーダー研修会	未定	公民館	青年活動の意義や青年としての生き方、具体的な団体の運営方法などについて学習することにより、各自の果たす役割を見いだし、団体及び活動の活性化を図る。 ◆内容 未定 ◆講師 未定 ※主管:若人の集い	R5	48			
				R4	52	51,650	19名	
				R3	52	51,540	25名	
青年活動道外研修 (隔年実施)	未定	未定	全国のまちづくりについての研修や活動家との交流をとおして、地域における青年活動の活性化を図る。研修団を組織して研修事業を実施する。研修団へ助成金の支出と支援を行う。	R5	96			
				R4	—	—	無(隔年実施のため)	
				R3	96	0	中止	
第40回 八雲町青年問題研究集会	2月予定	公民館	参加者が主人公となって、仲間との話し合いを通し、青年活動の点検や生きていくうえでの課題解決を図り青年自らの成長に役立たせる。 ◆実行委員会 11月発足 ◆内容 記念講演 分科会 ◆講師 未定 ※主管:青研集会実行委員会(若人の集い)	R5	143			
				R4	147	136,160	43名	
				R3	144	78,040	56名	

【青年・成人教育関係事業】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
茜学級 (第50回 八雲町女性学級)	6月27日(火) ~3月5日(火)	公民館ほか	学習活動や趣味活動などの取り組みをとおして仲間づくりをすすめるとともに、 住みよい地域づくりにむけて地域や家庭で女性が果たす役割について考える。 ◆学級生:7名	R5	17	—	7名	
				R4	16	8,600	11名・皆勤1名・精勤1名・修了3名・延100名	
				R3	17	0	中止	
第33回 全町女性研修会	11月25日(土)	公民館	全町にわたる女性団体及びサークル、個人が女性の立場から一堂に集い、地域の活性化のために女性の果たす役割を考える。 ◆内容 講演会「(未定)」 ◆講師 福々亭 ナミ子 氏 ※主管:やくもレディースネット	R5	109	—	—	
				R4	113	112,770	16名	
				R3	114	111,600	34名	
女性活動リーダー養成国内 研修(隔年実施)	R5実施なし	—	全国のまちづくりについての研修や女性活動家との交流をとおして、地域における女性活動の活性化を図る。研修団を組織して研修事業を実施する。研修団へ助成金の支出と支援を行う。	R5	—	—	無(隔年実施のため)	
				R4	96	96,000	3名	
				R3	—	—	無(隔年実施のため)	
第40回 あんどん型山車づくり講習会	4月21日(金) ~4月23日(日)	町民センター	町民が一丸となって取り組める山車行列をめざして、山車の絵の描き方の基本技術を学び、地域・職場等で参加できるきっかけをつくるとともに、絵の技術向上をめざす。 ◆山車絵の制作 ◆講師 成田幻節 氏(ねぶた絵師) ※主管:山車行列実行委員会・若人の集い	R5	74	73,500	延べ91名	
				R4	78	78,000	延べ78名	
				R3	78	78,000	延べ62名	
マイプラン学習講座 (自主運営学習事業)	通年	公民館ほか	町内の団体、サークル等が自主的に行う学習活動へ講師を派遣し、町民の生涯学習活動の推進を図る。 (謝金の一部支援、会場確保、PR協力等を実施する。) ◆R5年度 1件応募有	R5	120	—	1件応募有(9月現在)	
				R4	120	0	応募なし	
				R3	120	0	応募なし	

【高齢者教育関係事業】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度		参加状況等	備考		
				予算	決算				
遊楽部学園 (第51回 八雲町高齢者学級)	6月30日(金) ～3月22日(金)	公民館ほか	町内の高齢者が教養や趣味を身につけることにより、生きがいを創造する。 ◆学園生：14名	R5	45	14名			
				R4	44	0	13名	※事業縮小実施につき支出なし	
				R3	41	0	中止(コロナ)		
第31回 シルバーオリンピック	中止	-	町内の高齢者が一堂に会し、スポーツ活動を実践することにより健康づくりの意識高揚と体力の維持を図る。 ◆内容 8競技、マスゲームなど ※共催：八雲町	R5			中止(コロナ)	保健福祉課 主催事業	
				R4				中止(コロナ)	保健福祉課 主催事業
				R3				中止(コロナ)	保健福祉課 主催事業
地域生きがい学級	4月～3月	各地域会館	高齢化社会に対応するため、趣味や教養などの学習活動を展開し、豊かな生きがいづくりを図るため、地域単位で自主活動を促進する。 ◆開設期間 4月～3月 ◆開設学級 3学級 ・山越地区 学級生13名 落部地区 学級生12名 ・大新地区 学級生8名	R5	31	-	3地域・33名		
				R4	31	7,500	3地域・36名		
				R3	35	5,000	2地域・20名		
第18期熊石生きがい学習塾	5月～10月	ふれあい交流センターくまいし館ほか	高齢者の継続的学習の場と機会を拡充し、生涯学習における高齢者教育の充実を図る。 ◆内容 ①写真立てフレーム工作体験(5月29日：6名) ②写真立てフレーム工作体験(加工編)(6月15日：6名) ③厚沢部町巡り(7月27日：5名) ④茜学級との交流パークゴルフ(8月22日：5名) ⑤せたな町巡り(未定) ⑥熊石文化祭見学(10月27日)	R5	33	-	-		
				R4	12	10,000	4回・延べ16名		
				R3	14	0	3回・延べ18名		

【家庭教育関係事業】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
幼児教育講演会	未定	未定	子どもの人格形成に重要とされる幼児期の教育について学習するとともに、子育てをする親同士のネットワーク作り、地域での子育てについて考える。また、学習をとおして親育ちを図り、家庭教育と子どもの健全な成長を支援し、地域ぐるみの子育てをめざす。 ◆内容 未定 ◆講師 未定	R5	59	—	—	
				R4	58	56,700	18名	
				R3	58	57,128	19名	
家庭教育支援講座	未定	未定	◆内容 未定 ◆講師 未定	R5	47	—	—	
				R4	47	46,700	26名	
				R3	45	46,728	10名	
家庭教育講演会	未定	未定	児童生徒の健全育成を図るため、子どもを取り巻く社会の状況や子どもの様相について学習する。 ◆内容 講演会「(未定)」 ◆講師 未定	R5	50	—	—	
				R4	50	51,700	25名	
				R3	50	0	中止	
第35回 親子の自然体験学習	11月予定	町内	北海道の自然に接し、自然の大切さや素晴らしさを理解すると共に、親子の心のふれあいを図る。 ◆内容 ハイキング等 ※主管：社会教育推進員会	R5	22	—	—	
				R4	21	15,000	8名	
				R3	16	0	中止	

【生涯学習】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	令和5年度		参加状況等	備考
				年度	予算		
第32回 生涯学習フェスティバル	10月～12月	公民館ほか	町内社会教育関係団体との連携・協力のもと、多種多様な生涯学習事業を町民各層に提供し、町民の生活資質向上を図るとともに、地域づくりについて考える機会にする。 ◆実行委員会 8月発足、協賛事業募集、チラシ等で事業をPR ◆内容 講演会、団体の協賛事業、地域間交流事業、キッズパフォーマンスなど ※主管：生涯学習フェスティバル実行委員会	R5	174	—	—
				R4	178	173,700	22事業・22回 1,435名参加
				R3	172	176,000	24事業・24回 2,966名参加
公民館生涯学習講座 ◆公民館事業	5月～12月	公民館	集団で創作活動等をすることの喜びを知るとともに、余暇を有意義に活用するため、町民ニーズにあった各種講座を開設し、生涯学習の振興を図る。 ◆開催講座 ・八雲地区14講座(着つけ、絵画(昼・夜)、篆刻、俳句入門、ソーイング、陶芸、小原流生け花、英会話、フラダンス(昼・夜)、子ども絵画(パレット・アトリエ)、八雲学)	R5	835	—	—
				R4	885	593,620	八雲14講座 (延べ866名)
				R3	909	602,856	八雲14講座、落部1講座 (延べ876名)
公民館生涯学習講座 「木彫り熊講座」	6月～10月 (毎週土・日) 全40回	木彫り熊資料館	《北海道木彫り熊発祥の地・八雲》の木彫り熊の歴史と文化を学び、その伝統技法を後世に継承し、木彫り熊を製作することにより町づくりに取り組む町民の育成をめざす。 ◆受講者：13名	R5	385	—	受講者13名
				R4	430	235,900	受講者13名 (延べ334名)
				R3	383	293,974	受講者10名 (延べ260名)
公民館パソコン講座 ◆公民館事業	6月26日(月) ～10月25日(水)	公民館	情報化時代に対応し、各種パソコン講座を開催する。 ◆開催講座 5講座募集	R5	261	—	—
				R4	257	79,850	5講座・31名(延べ89名)
				R3	303	91,860	5講座・19名(延べ55名)
IT町民サポートセンター ◆公民館事業	4月～3月	公民館 はびあ八雲	町民のパソコンに関する相談窓口を月2回開催し、問題解決するとともに、パソコンの普及を図る。 ◆開催日時 4月～3月(毎月第2・4木)	R5	63	—	—
				R4	62	77,250	全24回・23名利用
				R3	63	62,400	全24回・11名利用

【生涯学習】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考	
茶道講座	6月～11月	梅雲亭	日本の伝統文化に親しみ、茶道の作法を学ぶ。 ・全12回(月2回、平日夜間) ◆受講生:7名	R5	47	—	12回実施予定 受講生11名		
				R4	47	46,800	12回実施、受講生11名		
				R3	47	46,800	12回実施、受講生9名		
史料より見る歴史講座	①10月予定 ②11月予定	①公民館 ②熊石総合支所	八雲地域に関する古文書から知り得る、八雲・熊石の歴史について学ぶ。 ◆講師 幸村恒夫氏	R5	20	—	—		
				R4	16	2,880	熊石7名、八雲12名		
				R3	16	0	熊石13名、八雲20名		
企画展 収蔵美術展 牧野富太郎と坂本直行 ～植物を愛したふたりのまなざし～	6月6日(火) ～8月20日(日)	木彫り熊資料館	坂本直行の植物画に影響を与えた牧野富太郎の植物図と坂本直行の絵画作品、さらに町内で採取した植物標本を合わせて展示して、坂本直行と牧野富太郎について紹介する。	R5			(R5) 予算:133千円 決算:未確定 来場者:未確定		
				R4					
				R3					
企画展 新収蔵木彫り熊展	6月6日(火) ～9月3日(日)	木彫り熊資料館	寄贈・寄託を受けた木彫り熊の中で、これまで展示できなかった町内及び町外の木彫り熊作品の展示。 (来場者:2,321名)	R5			(R4) 予算:133千円 決算:31,828円 来場者:3,618名		
				R4					
				R3					
企画展 坂本直行展～ちよっこうさんが見た景色～	2月28日(火) ～5月7日(日)	木彫り熊資料館	八雲総合病院が収蔵する坂本直行の絵画作品の展示。 (来場者:1,209名)	R5			(R3) 予算:141千円 決算:39,732円 来場者:2,501名		
				R4					
				R3					
企画展 ひな人形展	2月 ～3月3日(日)	梅村庭園 (梅雲亭)	郷土資料館が所蔵する明治期から昭和期のひな人形とやくもレディースネットが所蔵する全国のひな人形の展示。 ※共催:やくもレディースネット	R5	0	—	—		
				R4	0	0	来場者:480名		
				R3	0	3,760	来場者:260名		
熊石歴史記念館 特別展開催事業	7月1日(土) ～7月31日(月)	熊石歴史記念館	熊石歴史記念館の教育的活用と地域の活性化をめざして特別展を開催し、地域文化の振興を図る ◆特別展「趣味の油絵展」	R5	0	0	来場者:172名		
				R4	0	0	来場者:169名	「熊石の絵師 鏡谷抱園展」	
				R3	0	0	来場者:157名	「八雲の木彫り熊たち」	


【生涯学習】

【単位: 予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
木彫り熊100周年記念事業	通年	町内	令和6年度が木彫り熊100周年となることから、八雲町の木彫り熊の歴史をたどり、木彫り熊の「今」を知り、未来について考え、八雲町民がより町に誇りと愛着を持てるように、令和5年度から事業を実施する。 ◆徳川家とスイスに関する事業 ◆特別展・講演会 ◆ポスターの印刷配布 ◆資料館案内看板設置 資料館への道案内の看板を、電柱広告として掲出	R5	4,290	未確定		
				R4				
				R3				

【文化財】

【単位：予算(千円)、決算(円)】

事業名	開催日時	会場	令和5年度 事業実施状況(事業概要)	年度	予算	決算	参加状況等	備考
文化財パトロール	11月予定	町内	渡島教育局職員と道から委嘱を受けた調査員と共に、町内に所在する指定文化財や埋蔵文化財包蔵地の巡視を行う。	R5	0	—		
				R4	0	0	3名(八雲町調査員、他町調査員、渡島教委担当)	
				R3	0	0	3名(八雲町調査員、他町調査員、渡島教委担当)	
企画展 重要文化財 「コタン温泉遺跡 出土品」展	10月 ～11月予定	木彫り熊資料館	北海道教育委員会が定める「北海道文化財保護強調月間」に合わせて、国指定重要文化財「コタン温泉遺跡出土品」の公開・展示を行う。	R5	0	—		
				R4	0	0	来場者：1,157名	
				R3	0	0	来場者：646名	
新八雲町史編さん事業	通年	郷土資料館	平成17年10月1日に旧八雲町と旧熊石町が合併して新八雲町が誕生し、令和2年に合併15年を迎えたことから、合併から15年間の歴史を「新八雲町史」として編さんする。	R5	3,470	—		
				R4	3,345	3,331,859		
				R3	3,919	2,761,966		
アイヌ文化財保存活用事業	通年	—	町内に有するアイヌ関連の石碑のうち、特に重要な石碑2件を保護するための上屋を整備するとともに、アイヌ関連スポット10カ所へ看板を設置するほか、ウェブページやリーフレットでそれらを紹介することで、アイヌと移住者たちの関わりの歴史を広く伝える。(アイヌ政策推進交付金を活用)	R5	55,963	—		
				R4				
				R3				
木彫り熊デザイングッズ 企画開発事業	通年	—	令和4年度に八雲町とビームスジャパンが共同開発した木彫り熊デザイングッズに使用されている「くもはち君(熊の焼印マーク)」が、第三者に商標登録されることを防ぐために町が商標登録する。 ○令和5年7月21日に登録。 	R5	99	—	商標登録完了	
				R4	8,800	7,941,068	グッズ開発、PR	
				R3				

令和5年度 八雲町社会教育課・熊石教育事務所所管事業計画案

(1)月別事業予定

主催事業・会議等		主催事業・会議等	
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・IT町民サポートセンター(4月～3月) ・公民館生涯学習講座(5月～12月) ・公民館生涯学習パソコン講座(6月～10月) ・梅雲亭茶道講座(6月～11月) ・マイプラン学習講座 ・新八雲町史編さん事業(H31～R5年度事業) ・アイヌ文化財保存活用事業 ・木彫り熊デザイングッズ企画開発事業(R4～) ・木彫り熊100周年記念事業 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財「コタン温泉遺跡出土品」展(～11月) ・第32回全町生涯学習フェスティバル(～12月) ・お年寄りと子どものつどい④ ・カタカタぬ～りぬり(熊石) ・史料より見る歴史講座①
		11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーラップ川自然体験学習会② ・お年寄りと子どものつどい⑤ ・第33回全町女性研修会 ・第3回社会教育委員会議 ・史料より見る歴史講座② ・第35回親子の自然体験学習 ・文化財パトロール
		12月	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りと子どものつどい⑥
		1月	<ul style="list-style-type: none"> ・八雲町二十歳の集い ・第59回小・中学生新年席書大会(八雲) ・新春書き初め席書大会(熊石) ・縄文文化体験講座 ・ユーラップ川自然体験学習会③
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵美術展(～5月) ・ミニ金魚ねぶたづくり講習会 ・地域生きがい学級開設(～3月) ・あんどん型山車づくり講習会 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな人形展(～3月) ・第40回青年問題研究集会 ・第2回文化財保護審議会
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・熊石生きがい学習塾開講(～10月) ・第1回社会教育委員会議 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーラップ川自然体験学習会④ ・第4回社会教育委員会議兼公民館運営審議会 ・木彫り熊100周年記念事業
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・木彫り熊講座開講(～10月) ・第51回遊楽部学園開講(～3月) ・第50回茜学級開講(～3月) ・収蔵美術展(～8月) ・新収蔵木彫り熊展(～9月) 	未定	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で遊ぼう～For Little Children～ ・国際交流事業(ALT活用事業) ・青年活動道外研修[隔年事業] ・第37回青年活動リーダー研修会 ・幼児教育講演会 ・家庭教育講演会 ・家庭教育支援講座 ・(仮)町長と高校生との懇談会 ・少年文化財教室
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーラップ川自然体験学習会① ・お年寄りと子どものつどい① ・第49回YOU・遊・クラス開講(～3月) ・化石採集体験学習 ・ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展(～8月) ・熊石歴史記念館特別展 	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回文化財保護審議会 ・お年寄りと子どものつどい② ・第45回子どもアイデア工作展募集
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回文化財保護審議会 ・お年寄りと子どものつどい② ・第45回子どもアイデア工作展募集 	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・第45回子どもアイデア工作展審査・展示・表彰式 ・第40回ふるさと発見ウォークラリー大会 ・お年寄りと子どものつどい③ ・第2回社会教育委員会議
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・第45回子どもアイデア工作展審査・展示・表彰式 ・第40回ふるさと発見ウォークラリー大会 ・お年寄りと子どものつどい③ ・第2回社会教育委員会議 		

マイプラン学習講座実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は町内の団体、サークル、グループ（以下、団体等という）が自主的に行う学習会等に町が講師を派遣することにより町民の生涯学習活動の推進を図ることを目的とする。

(用語の意義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は次のとおりとする。

(1) 学習会等：次の要件を満たすものをいう。

ア 一般教養、趣味、生活、文化等の生涯学習活動を目的とした学習会、講演会、講習会等であること。ただし、スポーツに関することは除く。

イ 当日の参加者が15名以上いること。

ウ 参加者は一般公募すること。

エ 参加費は無料とすること。ただし、材料代等実費徴収は可。

(2) 講師：学習会等に必要な講師、助言者、指導者をいう。

(対象となる団体等)

第3条 講師の派遣事業の対象となる団体等は次の要件を備えていなければならない。

(1) 生涯学習活動を目的とする団体等であること。

(2) 3名以上の企画運営者を有し、会員の過半数が八雲町民であること。

(3) 団体等の代表者、連絡責任者が、八雲町民であること。

(4) 団体等の規約及び会員名簿を有すること。

(5) 自ら営利事業を行い、又は、他の営利事業に団体等の名称を利用させるものではないこと。

(6) 政治団体または宗教団体でないこと。

(7) 団体等が行う事業全体の補助金としないこと。

(8) 国又は道の補助金及び町の他の補助金の交付を受けている事業については、原則として除くものとする。

2 前項に定めるもののほか、教育長が認めるもの。

(計画書及び申請書の提出)

第4条 講師の派遣を希望する団体等は、実施計画書（様式1）及び実施申請書（様式2）を提出しなければならない。

(計画の承認)

第5条 教育長は、前条の申請に基づき、その事業内容を審査し、適当と認めるものに対しては、講師派遣について決定通知書を交付するものとする。

2 当該計画の承認については、八雲町社会教育委員の意見を聴取し、教育長が決定するものとする。

3 適当でないものについては、不承認通知書を交付する。

(講師との交渉)

第6条 講師は学習課題に十分にこたえ得る講師であること。また、講師との学習内容等の交渉は、団体等が行う。ただし、団体等から講師の選定等について相談を受けたときはこれに応ずるものとする。

(講師派遣)

第7条 講師派遣の承認を決定された団体等に対しては、講師の謝金を町費で負担のうえ講師を派遣する。

(講師謝金額の決定)

第8条 町が負担する講師者金額は、学習時間、講師の知名度、参加人員、催しの性格性等を勘案して決定する。

(事業計画の変更)

第9条 講師派遣の承認を決定された後の学習会等の計画変更は教育長の承認を受けなければならない。

(報告義務)

第10条 学習会等の終了後1か月以内に、団体等は実施報告書(様式3)を提出しなければならない。

(補 則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成8年5月1日より施行する。

この要綱は、平成11年4月1日より一部改正する。

この要綱は、平成26年4月1日より一部改正する。

この要綱は、令和4年4月1日より一部改正する。

マイプラン学習講座 社会教育委員説明用資料(1)

項目	内容
申請者	JA新はこだて女性部八雲女性部
事業名称	女性のための農業セミナー講演会
事業の目的 及び趣旨	環境と再生産に配慮した家族農業の大切さと未来への可能性を生産者、消費者で共有する。
事業日程	令和5年11月25日(土)13:00~14:00
会場	八雲町公民館 第1・第2集会室
参加対象	一般町民
事業内容	食糧生産に携わっている私たちが、大規模化・効率化のみを追求するのではなく、環境や再生産に配慮した多様な経営を学び、家族農業の大切さを確認するとともに、食育などを通して消費者の理解を深めたい。
予算	170,000円(うち申請額 40,000円)
講師	関根 佳恵氏(愛知学院大学 経済学部 経済学科 教授)
その他	

関根 佳恵氏 プロフィール

高知大学農学部を卒業後、京都大学経済学研究科 経済動態分析専攻 修士課程・博士課程を修了。国連食糧農業機関 栄養・フードシステム局客員研究員、立教大学経済学部助教、フランス国立農学研究所イノベーション研究ユニット研修員を経て、2022年より愛知学院大学 経済学部 経済学科教授。

○主な著書:「13歳からの食と農」、「『家族農業が世界を変える』シリーズ」など

○活動等:放送大学ラジオ科目「フードシステムと日本農業」(2018年4月~)など

令和5年度 八雲町社会教育委員各部会等活動計画

☆ 社会教育委員

期 日	事 業 名	会 場	活 動 内 容 等
5月24日(水)	第1回八雲町社会教育委員会議	八雲町公民館	11名出席
9月27日(水)	第2回八雲町社会教育委員会議	八雲町公民館	
11月予定	第3回八雲町社会教育委員会議	八雲町公民館	
3月予定	第4回八雲町社会教育委員会議 兼公民館運営審議会	八雲町公民館	
5月10日(水)	令和5年度渡島社会教育委員連絡協議会第1回役員会及び定期総会	函館市	委員長・事務局
7月13日(木) ~14日(金)	第43回北海道市町村社会教育委員長等研修会	札幌市	委員長・事務局
9月8日(金)	令和5年度渡島社会教育委員連絡協議会第2回役員会	函館市 (書面開催)	
10月20日(金)	第62回北海道社会教育研究大会(空知大会) 兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会	長沼町 (オンライン開催)	
11月9日(木)	令和5年度渡島社会教育委員研究集会	函館市	

☆ 総務部会

期 日	事 業 名	会 場	活 動 内 容 等
1月予定	第1回総務部会	八雲町公民館	教育委員会事務事業の外部評価について等

☆ 事業部会

期 日	事 業 名	会 場	活 動 内 容 等
11月予定	第1回事業部会	八雲町公民館	
12月予定	第2回事業部会	八雲町公民館	

☆ 団体育成部会

期 日	事 業 名	会 場	活 動 内 容 等
7月19日(水)	第1回団体育成部会	八雲町公民館	6名出席
9月10日(日)	町内活動団体交流会	八雲町民センター	委員7名、他2名出席
未定	第2回団体育成部会	八雲町公民館	